



昭和大学藤が丘病院 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

# 病院だより

2021年3・4月  
第339号

病院だより第339号 (2021年3・4月号)

発行者 昭和大学藤が丘病院  
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院  
発行責任者 藤が丘病院長 高橋 寛  
編集責任者 広報・公關課委員長 森岡 幹  
〒227-8501 横浜市青葉区藤が丘1-30  
Tel 045-971-1151

## 退任の挨拶

### 神奈川から日本のNo.1をめざして！

藤が丘病院 脳神経外科  
教授 寺田 友昭

早いもので昭和大学藤が丘病院に入職して早7年が過ぎ、定年退職を迎えることになりました。

私が藤が丘病院に赴任した時の目標は、3年以内に血管内治療の分野で神奈川県No.1になるということでした。

元来、神奈川県は脳神経血管内治療がさほど盛んではなく、強力なライバルもいませんでした。ところが、意外に症例数が伸びませんでした。調べてみると、高難度症例は紹介されてくるものの、簡単な症例は自施設で治療されているということが分かってきました。それ以後、近隣施設を回り、地域の先生方と人脈を築くことにより、徐々に紹介数が増え、現在では青葉区以外に田園都市線たまプラーザ駅より西側の和、町田、相模原から紹介が増えて来るようになりました。

今では、青葉区を含めこれらの地域で最も信頼されている脳外科施設になっていると自負しております。また、脳神経血管内治療に関しては、国内でできるすべての治療が可能で、特に最も難易度が高いとされる脳動静脈奇形、硬膜動静脈シャントの治療件数(出張手術も含め)では国内最多です。

今後は、昭和大学横浜市北部病院で特任教授として診療にあたる傍ら、藤が丘病院でも毎週火曜日は外来診察、月曜日は紹介患者の手術を引き続き行ってまいります。北部病院では外来診察日は金曜午前、木曜日に手術を行う予定です。

また、私の退任後は、後任の津本先生が責任をもって神奈川県No.1の脳神経血管内治療を維持し、そして国内No.1を目指してくれると信じております。最後に、在職中のお世話になった藤が丘病院の先生がた医療スタッフの皆様にご心より感謝いたします。



## 就任挨拶

藤が丘病院薬剤部長代行  
昭和大学薬学部病院薬剤学講座准教授  
須永 登美子

2021年3月1日より、藤が丘病院薬剤部長代行に就任いたしました。私は、昭和大学薬学部卒業後、同大学院へ進学し、多摩地域における消化器疾患専門病院としての役割を担っている八王子消化器病院にて、約9年間、消化器がん領域の薬物療法を中心に臨床と研究に携わってまいりました。その後、2013年4月より藤が丘病院に勤務、同年に学位を取得し、医療人として幅広い知識と専門領域における知識を習得してまいりました。また、幸運にも、昭和大学の魅力の一つである海外留学制度にて2019年7月から1年間フロリダ大学への留学を経験させていただいたことで、臨床・教育・研究において自身の視野が広がったと感じています。

昭和大学は医系総合大学として、社会に貢献できる医療人の育成を使命としています。統括薬剤部においても、2010年より臨床研修薬剤師制度を開始し、卒業後教育として主体性をもって薬物治療を支援・立案できるようにするための臨床教育を行っています。同時に、臨床研修薬剤師修了後の継続的な人材育成においても力を注いでおります。現在、藤が丘病院では、薬物療法認定薬剤師をはじめ、領域のスペシャリストとして多くの薬剤師が、腫瘍センター、感染管理室、サポートケアチーム(緩和ケアチーム)、栄養サポートチーム等において専門性を発揮しています。

薬物療法は、年々高度化・多様化し、その実施には高度な知識と技術が求められ、薬剤師のニーズはますます高まっています。社会からの期待に応えるためには、個々の薬剤師自らが研鑽を重ね専門性を高めるとともに、組織としても薬物治療の適正化や安全な実施に向けて意見を出し合い取り組むことが必要となります。コロナ禍による制限はございますが、次への備えとして、工夫してまいりたいと思っております。

皆様のご期待に応えられるよう日々邁進していきたいと思っておりますので、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



## 就任のご挨拶と抱負

藤が丘病院 放射線技術部  
診療放射線技師長(部長) 佐藤 久弥

2021年1月1日付で、藤が丘病院 放射線技術部・藤が丘リハビリテーション病院放射線技術室技師長(部長)として着任いたしました佐藤久弥と申します。私は、1992年4月に昭和大学に入職し、大学病院で9年勤務し、2001年4月の北部病院の開院と同時に横浜市北部病院に異動となりました。2009年10月に大学病院に異動し、藤が丘病院は3か所目の病院となります。昭和大学以外の病院で3つの病院を経験するためには、就退職を繰り返さなければなりませんが、昭和大学には8病院1クリニックがあるため、様々な病院を経験できます。そのため診療放射線技師業務や管理者業務など大変良い環境で自己研鑽ができております。現に私も3つの病院を経験させていただき、各附属病院で放射線技術部に求められることは少しずつ異なるため、附属病院の特色に合わせた組織作りを目指し日々勉強させていただいております。

私は放射線技術部の管理者として3つのことを行っていきたいと考えております。先ず元気よく率先して「挨拶」することを指導いたします。放射線検査室は2階にあります。2階は多くの病院関係者が行き来します。そこで、元気よく「挨拶」をすることで、放射線技術部はもとより病院全体の雰囲気も「挨拶」で今以上に明るくできるのではなかと考えております。次に、「思いやりをもって人と接する」など医療人としての基本的な心構えからしっかりと指導していきます。また、藤が丘病院に導入されている最先端の放射線機器を操作する診療放射線技師として、装置が持つ性能を最大限に活用した検査・治療技術を患者さんに提供できるよう各診療科の先生方や医療スタッフと連携していきたいと思っております。以上のことを実践し、放射線技術部が一丸となって患者さんに安全で安心できる放射線検査・治療を行ってまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。



なってきました。世の中は初夏を感じる季節となりましたが、この1年間を振り返ると藤が丘病院職員は一丸となりコロナ対策に寝る間を惜しみながら努力しておりました。また、通常診療もこのような状況下にあるにもかかわらず患者さんに優しく接する姿が、多くの患者さんからの励ましや感謝のお言葉につながったと思います。

現在のところその状況も徐々に改善していると思われませんが、我々藤が丘病院職員は病院職員としてだけでなく、大学教育機関の一員としても世間に誇りを持ってこれまで様々なことに対処してまいりました。今後、さらなる進歩を遂げるために何をしていかなければならないかを再考しなければなりません。

さて、2017年に形成外科学講座の拠点が藤が丘病院になり、はや3年半過ぎようとしております。この移動騒ぎで多くの患者さんにはご不便やご迷惑をおかけいたしました。徐々に患者さん自体も慣れてこられた様子で一安心しております。手術件数は若干減ったものの、予想以上に健闘したと考えております。最初の3年間は変革であり、これまでに医局改良や医局員の意識改革を行ってまいりました。ただ、50年以上の歴史のある当形成外科では思うような改新を素早く行うことはかなり困難であり、さらにこれまでの3年間はコロナをはじめ多くの事件が勃発したことで苦しい日々でした。しかしながら、医局員一同それぞれが努力したことで前進することができたと考えております。

次の3年間でやるべきことは改新、改革は引き続き継続するとして、発展に力を入れていくことです。この4月から藤が丘病院では新体制としてチーム制の導入を検討しております。口唇口蓋裂チーム、再建外科チーム、手の外科チーム、一般形成外科チームを作り専攻医の先生には期間限定でそれぞれのチームに所属していただき、集中的に指導を行えるようにします。このことで、より専門的な集団を形成して患者様のニーズに応えていけるようにしたいと思います。また、対外的にも講演会やワークショップなどを積極的に行っていく形成外科の啓蒙をより広めようと考えております。

我々藤が丘病院の形成外科は今後も各診療科とのつながりを密にして、地域診療に貢献しながらも学術

## これまでの3年、そしてこれからの3年

昭和大学藤が丘病院 形成外科  
診療科長 門松香一

コロナの渦はまだ予断を許さない状況ではございますが、窓の外を見ると日の光も徐々に輝きをまして、風に清々しさを感じ、緑も鮮やかな色へと移りゆく季節と



的にも努力を重ねていき、藤が丘病院を日本一の大学病院へ発展させるべく尽力していきたいと存じます。

## 藤が丘病院でもダヴィンチ本格稼働へ

ロボット支援手術運営委員会委員長  
泌尿器科教授 佐々木 春明

昭和大学藤が丘病院でもいよいよ手術支援ロボット「ダヴィンチ」が本格的に稼働します。ダヴィンチ手術は前立腺癌が2012年4月に保険適応となり、2019年から腎臓、胃、縦郭、食道、子宮、肺にも保険適応が拡大されました。

ダヴィンチは1990年代に米国で開発され、1999年から臨床用機器として販売されました。ダヴィンチ手術は1～2cmの小さな創より内視鏡カメラとロボットアームを挿入し、高度な内視鏡手術を可能にしました。術者は3Dモニター画面を見ながらあたかも術野に手を入れているようにロボットアームを操作して手術を行います。



従来不可能とされていた角度からの視野の確保と鉗子の自在で精密な動きを可能にし、その優れた技術と操作性は患者さんや医師にとっても大きなプラスの作用をもたらします。患者さんに優しい手術として、①術中の出血量が少ない、②傷口が小さい、③術後の疼痛が少ない、④回復が早い、⑤機能の温存が向上することが挙げられます。

また、手術を担当する医師はサージョンコンソールと呼ばれる機械に座り、患者さんに触れずに遠隔操作により手術が行われることがダヴィンチ手術の大きな特徴です。これまでは医師が無理な体勢を強いられたり、立ったまま長時間の手術が行われてきましたが、ダヴィンチ手術ではそのような医師の肉体的な負担も軽減できます。それに加えて手ぶれを防止し、突発的な動きを制御する機能があり術者にかかるストレスが軽減され、より丁寧で確実な手術が可能になります。

藤が丘病院にダヴィンチを導入するために2013年にソウルのセントメリー大学附属病院に見学に行ってから8年かかりましたが、まず前立腺癌、子宮癌から手術を開始して、順次腎臓癌、膀胱癌、大腸癌などを開始する予定です。安全で安心な医療、さらに低侵襲な治療を目指して藤が丘病院が皆様に貢献できることを期待しています。

## 地域がん診療連携拠点病院指定

全国どこでも「質の高いがん医療」を提供することを目指して、がん対策基本法が2007年4月に施行され、これに基づき神奈川県では昨年度までに19病院が「地域がん診療連携拠点病院」として指定されていました。当院は、2016年度に「地域がん診療連携拠点病院」と同等の機能を有する病院として神奈川県知事から「神奈川県がん診療連携指定病院」の指定を受けおりましたが、この度、2021年4月1日より「地域がん診療連携拠点病院」として厚生労働大臣より指定されました。これもひとえに、がん患者さんを多数ご紹介頂き、また、がん患者さんの在宅医療に昼夜問わず御尽力頂いている地域の先生方の御支援の賜物と、心から感謝申し上げます。横浜市北部病院を含む神奈川県内のがん診療連携拠点病院とより深い連携を図り、がん診療の更なる質の向上に努めて参りますので、引き続き御支援の程よろしく願いいたします。

## 青葉区医師会より感謝状が贈呈されました

3月13日(土)、横浜市青葉区医師会長より藤が丘病院に感謝状が贈呈されました。新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、対応困難な患者さんをはじめ多くの陽性者を受入したことに対するものです。医療は現在もお大変厳しい状況にあり、毎日懸命に診療にあたっておりましたが、今回こうして感謝状をいただき大変光栄に思います。

当院はスタッフ一同、院内感染防止対策を徹底しながら一丸となって診療に取り組み、地域の中核病院として安全・安心な医療の提供に尽力してまいります。



## 臨床研修医修了式が行われました

3月26日(金)、2019年度採用の臨床研修医藤が丘病院修了式が行われました。今年は、基本プログラム21名、産婦人科・小児科プログラム4名の計25名が無事臨床研修修了証を手に入れました。

臨床研修修了式は大学主催でも行われますが、藤が丘病院では採用病院として独自に修了式を開催しています。こうした企画に藤が丘病院の研修医教育に注ぐ熱意と温かさ、目標を到達した学習者への敬意を

感じました。今後上級医の立場となる皆さんもそうした心持を継承されることと期待しています。

## 187名の新入職員を迎えました

藤が丘病院、藤が丘リハビリテーション病院では、4月から看護師92名、助産師6名、臨床研修薬剤師9名、理学療法士4名、作業療法士4名、診療放射線技師3名、臨床検査技師2名、臨床工学技士2名、言語聴覚士2名、視能訓練士1名、管理栄養士1名、事務員4名の新入職員130名と専攻医33名、臨床研修医24名の計187名のフレッシュなスタッフを迎えました。今年にはコロナ禍により、従来明治神宮会館で行われていた昭和大学新入職員入職式はビデオ配信となりました。また、藤が丘病院看護部のオリエンテーションは大半を自宅からのオンラインで行うなど、初の試みもなされました。

## 藤が丘病院受診について

藤が丘病院の受診方法について紹介をさせていただきます。当院は高度な専門医療を提供するため、他の医療機関と相互に連携して患者さんの治療にあたりしております。当院の受診時は、他の医療機関からの紹介状「診療情報提供書」をご持参いただきますようお願い致します。紹介状をお持ちの患者さんは事前に予約することをお勧めしております。予約につきましては、右記のお問い合わせ先に電話連絡もしくはホームページにてWEB予約ができます。ご活用下さい。

## お問い合わせ先

受付時間(月曜日～土曜日) 8:30～17:00

TEL 045-974-6701

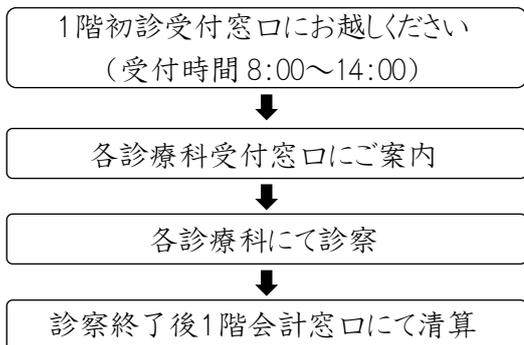
URL [www.showa-u.ac.jp/SUHF/](http://www.showa-u.ac.jp/SUHF/)

※当日のご予約はお取りしていません。紹介状をご持参のうえ直接初診受付にお越しください  
※医療機関または患者さんどちらからでも予約可能です

## ご来院当日にお持ちいただくもの

- ① 健康保険証
- ② 各種医療証(高齢受給者証・身体障害者手帳等)
- ③ 紹介状(診療情報提供書)

## 当日の流れ



## 医療機関の方へ

緊急性のある紹介患者の受け入れを行っております。地域医療連携室へご連絡下さい。ご連絡先は、予約と同じお問い合わせ先となります。

急性心筋梗塞、脳卒中等緊急疾患が疑われる場合は、下記のホットラインをご活用下さい。直接医師とお話ができます。

心臓ホットライン 070-5557-6035

脳卒中ホットライン 070-5015-3583

近隣の医療機関と連携をとりながら中核病院としての役割に務めていきます。

## 診療統計 2021年2月・3月

	藤が丘病院		リハビリテーション病院	
	2021年2月	2021年3月	2021年2月	2021年3月
外来患者数	18,975人 (862.5人/日)	23,346人 (897.9人/日)	3,800人 (172.7人/日)	4,670人 (179.6人/日)
入院患者数	12,501人 (446.5人/日)	15,047人 (485.4人/日)	4,747人 (169.5人/日)	5,082人 (163.9人/日)
紹介率	76.5%	78.5%	76.7%	77.0%
逆紹介率	91.8%	95.8%	93.9%	84.8%

## 《広報・公開講座委員会委員》

森岡 幹	川手 信行	原田 浩史	鈴木 洋	佐々木 春明	今井 敦	市川 度
中田 土起文	小岩 文彦	西村 栄一	小林 孝弘	泉 紀子	前田 うづみ	佐藤 美津恵
山寺 志保	黒田 上総	岡部 圭吾	門田 美佳	山田 大暉	高橋 良治	(順不同)